

審判上の確認

審判委員長

- 1 本大会は、2024年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則によって行う。
- 2 競技参加者は、公式競技規則を熟知し、これを守らなければならない。また、監督およびチーム・キャプテンは、チーム関係者の言動について責任を持たなければならない。
- 3 タイム・アウトの要求は、ハンド・シグナルを用いること。
- 4 競技者交代の要求とは、交代競技者がコートに入る準備をして、競技者交代ゾーンの中に入ることをいう。同時に2組以上の要求をするときは、すべての交代する競技者は同時に競技者交代ゾーンへ出向かなければならない。
- 5 コート・ワイピングについては、コート内の選手自身がタオルで速やかに行うこと。ただし、状況に応じて審判が許可した場合に限って、モップで拭くことができる。
- 6 タイム・アウトの間、競技参加者はベンチ近くのフリー・ゾーンに出なければならない。
- 7 ボールをプレーする動作中の選手による両アンテナ間のネットへの接触は反則である。ボールをプレーする動作の中には、（主に）踏み切りからヒット（またはプレーの試み）、着地まで含まれる。
- 8 試合中、監督は自コートベンチ前フリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。着席する場合、その位置は記録席に最も近いベンチとする。
- 9 競技参加者は、スポーツマン的な態度で臨むこと。判定に疑問がある場合は、ゲームキャプを通してのみ説明を求めることができる。
- 10 リベロのプレイメントは必ず1ラリーを挟まなくてはならない。